NTT EAST

介護老人保健施設「走水荘」など複数拠点に「ギガらくWi-Fi」を導入。

有線LAN環境の課題を解消し、業務効率化と職員の働きやすさを実現

神奈川県横須賀市を拠点に介護福祉事業をはじめ、保育や静岡県では農業などの幅広い事業を展開するしんわグループ。「やさしい心」「広い心」「待つ心」という理念のもと、地域に密着したサービスを提供する同グループは、有料老人ホームや介護老人保健施設等の複数拠点において、有線LANのみに頼っていたネットワーク環境の課題を解消するため、2021年にNTT東日本の「ギガらくWi-Fi」を導入しました。現在ではグループ全体で約200台の端末が接続され、業務効率化と職員の働きやすさ、そして各施設の入居者様や利用者様へのサービス向上を支える基盤となっています。

導入ソリューション ギガらくWi-Fi（ハイエンド6プラン）

なぜギガらくWi-Fiに決めたか
- NTT東日本への信頼感と、既存のICTインフラとWi-Fiの問い合わせ窓口を一本化できるメリット
- アクセスポイントが事前設定された状態で届くため、現場での設置作業が容易
- 同時接続台数の多い拠点にも対応できるハイエンド6プランなど、各施設の利用規模を踏まえた提案力

導入目的
- 複数の介護福祉施設が点在する中で、有線LANのみに依存していた情報環境の刷新
- 介護記録やサーバーアクセスなど、日々の業務に不可欠なネットワーク環境の整備

導入した結果
- ノートパソコンの活用が可能となり、場所を選ばず業務を遂行できる環境を実現
- 拠点間を移動してもパスワードの再入力なしに同じ環境で接続でき、他施設での勤務時も業務を継続可能
- 業務用とゲスト用のSSIDを分け、来訪者や休憩中の職員が業務ネットワークと分離されたWi-Fiを利用できる環境を整備



株式会社しんわ 総務課 主任 福祉用具専門相談員 中村 由紀 氏

株式会社しんわ 総務課 経理担当 吉山 江梨 氏

有線LANのみに依存したネットワーク環境が招いていた介護現場の“不便”

―― 以前のネットワーク環境は、どのような状況だったのでしょうか。

吉山氏 各事業所に有線LANが用意されているのみで、Wi-Fi環境は整備されていませんでした。したがって、グループの共有サーバーや各種クラウドサービスにアクセスする際には、LANに接続されたデスクトップパソコンを利用する必要がありました。

中村氏 そうした中で特に困っていたのは、職員が別の事業所を訪れた場面です。すぐに業務に取り掛かれず、空いているパソコンを借りる必要がありました。急ぎの場合、誰かが使用している最中のパソコンを一時的に借りることも多く、その職員の時間や場所を奪ってしまうことになります。

―― ネットワークにつながらないと、業務に大きな支障が生じるのですね。

中村氏 業務に必要な情報は基本的にグループ共有サーバーに集約されているため、ネットワークに接続できなければ仕事が進みません。訪問介護記録などもクラウドサービスで保管・管理しており、本部職員だけでなく、現場のケアワーカーやデイサービススタッフを含むすべての職員にとって、安定したネットワーク環境が欠かせません。1人の職員が複数の施設をまたがって活動するケースも多いだけに、どうしてもネットワーク接続ができない場合には、私たち総務課が変わって必要な資料を検索して印刷し、FAXで送るといった非効率な取り次ぎも発生していました。

―― そうした課題を解決すべく無線ネットワーク環境を整備するにあたり、「ギガらくWi-Fi」を知ったきっかけを教えてください。

中村氏 NTT東日本とは、かれこれ10年近いお付き合いがあります。既存のグループ共有サーバーや、しんわの本部と複数の事業所をつなぐVPNなど、ICTインフラ全般の環境整備でお世話になってきました。そうした信頼関係のあるNTT東日本から提案をいただいたのが、ギガらくWi-Fiを知ったきっかけです。

―― 導入に際して、他社サービスと比較はされましたか。

中村氏　検討はしましたが、既存のICTインフラとWi-Fi環境の問い合わせ窓口を一本化できるメリットを重視し、ギガらくWi-Fiを選びました。万が一、問題が起こった場合でも、どこに原因があるのか、私たちの側で判断することなく同じ窓口を通じて相談できるのは、大きな安心感となっています。また、ギガらくWi-Fiでは事前に初期設定されたアクセスポイントが届くため、電源コードをコンセントに挿し、LANケーブルを装置に接続するだけで、すぐに利用を始めることができます。こうした手軽さも、選定の決め手の1つです。

―― 導入はどのように進んだのでしょうか。

中村氏　2021年2月にまず本部へ導入し、ほとんど期間を空けずに全グループ会社の拠点へ展開しました。大きなトラブルもなくスムーズに進んだと記憶しています。

吉山氏　地下があるホームなど、電波が届くか不安に感じる拠点もありましたが、実際に使ってみると、まったく支障はありませんでした。走水荘でもフロアごとにアクセスポイントを1～2台、施設全体で計5台を設置することで、どこでも問題なくWi-Fi接続をカバーしています。

―― 新しい事業所を立ち上げる際の導入もスムーズですか。

中村氏　おっしゃるとおり、しんわグループでは訪問介護や居宅介護支援などを担う事業所の新規開設のほか、既存事業所の統廃合も比較的多いのですが、その都度NTT東日本には、インターネット回線を含むICTインフラ、電話、Wi-Fi環境の3つをまとめてお願いできるので助かっています。

業務効率化とセキュリティ、職員の働きやすさを支えるWi-Fi環境

―― ギガらくWi-Fi導入によって、具体的にどのような効果がありましたか。

中村氏　現在、グループ全体でパソコンや社内携帯など約200台の端末がWi-Fi環境に接続しており、グループ共有サーバーへのアクセスはもちろん、訪問介護記録や給与計算などのクラウドサービス、オンライン会議など、幅広い業務で活用しています。また、Wi-Fi環境が整ったことで、デスクトップが中心だったパソコンを全面的にノートパソコンへ切り替えることができました。

―― 拠点間の移動が多い職員にとって、大きなメリットになりそうですね。

中村氏　それがギガらくWi-Fi導入の最大の効果かもしれません。従来のように他拠点へ移動するたび、違うIDやパスワードを入れ直す必要がなく、自動的にWi-Fi環境に接続できます。



株式会社しんわ
総務課 主任 福祉用具専門相談員
中村 由紀 氏



株式会社しんわ
総務課 経理担当
吉山 江梨 氏

どの拠点からでも同じ方法で、同じ情報にアクセスできるので、他のホームへ応援に入ることが多いスタッフにとって、利便性は大きく向上しました。

―― セキュリティ面についてはいかがですか。

中村氏　VPN経由でグループ共有サーバーにアクセスする仕組みになっているため、安心して利用できています。また、Wi-Fi環境についても業務用とゲスト用でSSIDを分けているため、来訪者やご家族、医療関係者の方などにも、安心してゲスト用Wi-Fiをご案内できます。

吉山氏　職員自身も休憩時間に個人のスマートフォンをゲストWi-Fiに接続できるようになり、通信量を気にせず過ごせるようになりました。

―― トラブル対応やサポート面はいかがでしょうか。

中村氏　以前、ある拠点からWi-Fi環境に接続しづらいという問い合わせを受け、NTT東日本に電波調査をお願いしたことがありますが、迅速にご対応いただいたおかげで問題はすぐに解決しました。また、アクセスポイントの故障などで訪問修理が必要になったことは一度もなく、2021年の導入以来、安定して稼働しています。

―― 今後の展望や期待についてお聞かせください。

吉山氏　複数拠点を抱える介護・福祉事業者にとって、ネットワーク環境の整備はもはや必須です。いつでも、どこでも、ネットワークに接続できることで、特に事務作業の負担を軽減できれば、その分、施設の入居者様やデイサービスの利用者様への対面サービスに時間を充てられるようになります。ギガらくWi-Fiによって業務が効率化され、さらなるデジタル化への弾みがついたことは、すべての職員がそれぞれの本来の使命に集中するうえでも大きな意味を持っていると感じています。

中村氏　どの拠点でも同じようにネットワークへ接続し、必要なデータを共有できるようになったことで、組織全体の業務遂行力が向上しました。私たちと同様に複数拠点でサービスを展開する介護・福祉事業者の皆様にも、ギガらくWi-Fiをおすすめしたいと思います。

NTT EAST

お問い合わせ
NTT東日本株式会社
https://www.ntt-east.co.jp/
本 社　〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2